

11/18-24#11御父の家の中で…キリストの死と復活を通して、私たちのために用意された場所の中で生きる

**Bird's Eye View** ヨハネ14章の中心思想は、私たちが神の中へと信じ、それによって神の中へと入らなければならないということです。ヨハネ14:1 「あなたがたは心を騒がせてはならない。神の中へと信じ、また私の中へと信じなさい。A 神を信じることは客観的ですが、神の中へと信じることは主観的です。主観的に信じることは、私たちを神の中へもたらします。B 主の中へと信じることによって、私たちは彼の中へと入って彼と一になり、彼を享受し、彼が私たちのために完成したすべてにあずかります。C キリストの中へと信じることを通して、私たちは彼と有機的な結合を持ち、私たちの存在は彼の中へと浸し込まれて、両者は有機的に一となります。II 御父の家とは、三一の神が(肉体と成ること、十字架、復活を通して)ご自身を信者たちの中へと造り込み、完全に彼らとミングリングされ、彼らを建造して一つの有機体とならせ、彼の住まい、また表現とすることです。14:2 私の父の家には多くの住まいがある。もしそうでなかったなら、私はあなたがたに話したであろう。あなたがたのために、場所を用意しに行くのである。3 私が行って、あなたがたのために場所を用意したなら、再び来て、あなたがたを私自身に迎える。私がいる所に、あなたがたもいるようになるためである。A 2:16の「私の父の家」は地上での神の住まい、宮を指しています。宮はイエスの体の予表、あるいは象徴であり、この体は復活の中で拡大されてキリストのからだとなりました。2:16 そして、はとを売っている者たちに言われた、「これらの物をここから取り去れ。私の父の家を商売の家とするな」。B 14:2の「私の父の家」は、キリストのからだ、神の家としての召会です。1テモ3:15 それは、もし私が遅れた場合、神の家の中でどのように振る舞うべきかを、あなたに知ってもらうためです。神の家とは生ける神の召会であって、真理の柱また基礎です。C 御父の家とは、手順を経て究極的に完成された神と、彼の贖われ、再生され、造り変えられた選びの民とで構成された、神性と人性の合併です。D 御父の家には多くの住まいがあります。1 多くの住まいはキリストのからだの多くの肢体であり、このからだは神の宮です。1コリ3:16 あなたがたは神の宮であって、神の霊があなたがたの中に住んでおられることを、知らないのですか? 2 キリストにあるすべての信者は、神の建造(御父の家)における住まいです。この建造はキリストのからだです。12:27 今や、あなたがたはキリストのからだであり、そして各自は肢体なのです。E 「あなたがたのために、場所を用意しに行く」ことが意味するのは、主が場所を用意し、贖いを完成し、道を開き、立場を作って、私たちを神の中へと入ら

せるということです。1 主イエスは死と復活によって、道を整え、場所を用意して、私たちが神の中へもたらされるようにしました。2 彼はご自身の死と復活によって、私たちのために神の御前で、また神の中で立場を用意しました。このようにして、彼は私たちのために神の中に場所を用意しました。3 神の中にある立場は拡大されて、キリストのからだの中にある立場となります。a 神の中に立場、場所を持っていない者はだれも、キリストのからだ、すなわち御父の家、神の住まいの中に場所を持っていません。b 私たちはみなキリストにある信者として、神の中に場所を持っており、またからだの中に場所を持っており、今やキリストの死と復活を通して私たちのために用意された場所の中で生きるべきです。ヨハネ14:20 その日には、私が私の父の中におり、あなたがたが私の中におり、私があなたがたの中にいることを、あなたがたは知るであろう。F 主が来ることは神を人の中へもたらしました。そして、主が行くことは人を神の中へもたらしました。この来ることと行くことによって、主は、神を人の中へと建造し人を神の中へと建造することによって、神の家を建造します。G 神の御子、主イエス・キリストは、その霊により、また彼の死と復活を通して、有機体、召会を建造しつつあり、それは彼のからだまた御父の家であって、三一の神と彼の選ばれ贖われた人とのミングリングによって生み出されます。14:21 私の戒めを持ち、それを守る者は、私を愛する者である。私を愛する者は、私の父に愛される。私も彼を愛して、私自身を彼に現す。23 イエスは彼に答えて言われた、「だれでも私を愛する者は、私の言を守る。そして私の父は彼を愛され、私たちは彼の所へ行って、彼と共に住まいを造る」。H 御父の家は、御父と御子とその霊と共に、贖われた選びの民を絶えず訪れることによって建造されます。I 御父の家には三つの段階があります。それは、神が肉体と成った段階、キリストと彼の信者たちが共に復活させられ建造されて召会となった段階、究極的完成の段階、すなわち新エルサレムです。III 御父の家、すなわち召会は父なる神の中にあります。1テサロニケ1:1 パウロとシルワノとテモテから、父なる神と主イエス・キリストにあるテサロニケ人の召会へ。恵みと平安があなたがたにありますように。A 召会が父なる神の中にあるためには、神が私たちに対して御父とならなければならない、また私たちが神と命の関係を持つ必要があります。1 新約では、「御父」は命の源を示しています。2 「神」という称号は創造を指しています。「御父」という称号は命の分け与えと命の増殖を指しています。3 神はもはや、私たちの創造主であるだけではありません。神は私たちの御父、私たちを生んだ方でもあります。なぜなら、

神はご自身の命をもって私たちを生んだからです。  
4 私たちが神を私たちの御父と呼ぶことができるのは、私たちが彼から生まれたからであり、そして今では神の子供たちとして彼と命の関係を持っているからです。5 主は、ご自身の命を解き放つ死と命を分け与える復活を通して、私たちをご自身と一にしました。主の御父は今や、私たちの御父です。6 主イエスは、ご自身の死と復活によって、私たちをご自身の中へともたしました。主イエスは御父の中にいるので、私たちは彼(主イエス)の中にいることによって御父の中にもいます。B 召会が父なる神の中にあるということは、召会が唯一の源である方、発起者また開始者の中にあるということの意味です。1 神を御父として認識することは、あらゆるものが彼から生じて、あらゆるものが彼から出て来ることを認識することです。ローマ11:36 なぜなら、万物は彼から出て、彼を通し、彼に帰するからです。彼に栄光が、永遠にありますように。アーメン。2 御父は召会生活の中で唯一の源であるべきであって、私たちはみな彼の唯一の定められた御旨とご計画の中にあるべきです。IV 私たちは、御父の家としての召会の中で生きることの内在的な意義を見る必要があります。A 御父の家としての召会の中で生きることは、命としての三一の神の中で生きることです。B 御父の家としての召会の中で生きることは、光の中で生きることです。C 御父の家としての召会の中で生きることは、復活の中で生きることです。D 御父の家としての召会の中で生きることは、恵みと実際の中で生きることです。E 御父の家としての召会の中で生きることは、神聖な栄光の中で生きることです。F 御父の家としての召会の中で生きることは、祈りと礼拝の家の中で生きることです。G 御父の家としての召会の中で生きることは、牧養の生活を生きることです。H 御父の家としての召会の中で生きることは、神の建造の中で、神の建造のために生きることです。I 御父の家としての召会の中で生きることは、一を守るために、究極的に完成された霊の神聖で奥義的な領域の中で生きることです。ヨハネ17:21 それは、彼らがすべて一となるためです。父よ、あなたが私の中におられ、私があなたの中にあるように、彼らも私たちの中にあるためであり、あなたが私を遣わされたことを、世の人が信じるためです。23 私が彼らの中におり、あなたが私の中におられるのは、彼らが成就されて一となるためです。また、あなたが私を遣わされたこと、あなたが私を愛されたように彼らを愛されたことを、世の人が知るためです。J 御父の家としての召会の中で生きることは、手順を経て究極的に完成された三一の神と、贖われ再生された三部分から成る信者たちとの、神性と人性の合併の中で生きることです。

CP1 主は死と復活によって、私たちのために、神の中に、キリストのからだの中に、場所を用意された。II 御父の家とは、三一の神が(肉体と成ること、十字架、復活を通して)ご自身を信者たちの中へと造り込み、完全に彼らとミングリングされ、彼らを建造して一つの有機体とならせ、彼の住まい、また表現とすることです。ヨハネ14:2 私の父の家には多くの住まいがある。もしそうでなかったなら、私はあなたがたに話したであろう。あなたがたのために、場所を用意しに行くのである。B 14:2の「私の父の家」は、キリストのからだ、神の家としての召会です。D 御父の家には多くの住まいがあります。2 キリストにあるすべての信者は、神の建造(御父の家)における住まいです。この建造はキリストのからだです。1コリ12:27 今や、あなたがたはキリストのからだであり、そして各自は肢体なのです。E 「あなたがたのために、場所を用意しに行く」ことが意味するのは、主が場所を用意し、贖いを完成し、道を開き、立場を作って、私たちを神の中へと入らせるということです。1 主イエスは死と復活によって、道を整え、場所を用意して、私たちが神の中へともたされるようにしました。2 彼はご自身の死と復活によって、私たちのために神の御前で、また神の中で立場を用意しました。このようにして、彼は私たちのために神の中に場所を用意しました。3 神の中にある立場は拡大されて、キリストのからだの中にある立場となります。b 私たちはみなキリストにある信者として、神の中に場所を持っており、またからだの中に場所を持っており、今やキリストの死と復活を通して私たちのために用意された場所の中で生きるべきです。

どのようにして、罪人は神の中へと入ることができるのでしょうか? 分離するすべての要素、罪(単数)、罪(複数)、この世、悪魔、死、肉、自己、古い人の障害は、廃棄されなければなりません。...主は準備の働きをしなければなりません。彼は天に行くのではなく、十字架に行って、すべての障害を取り除かなければなりません。...主はすべての山を取り除き、すべての溝を埋め、ハイウェイを整え、通行料をすべて支払われました。私たちが支払う何の請求もありません。私たちは直接、神の中へと来てよいのです。主は彼の死と復活によって、私たちのために、神の中へと入るための道を開いただけでなく、神の御前で、また神の中で立場を用意されました。...私たちはみな叫ばなければなりません、「ハレルヤ! 私は神の御前で立場を持っています。私は神の内側にさえ立場を持っています。神ご自身でさえ、私を拒むことはできません。ああ、キリストの準備する働きのゆえに、義なる神は決して私を追い出すことはできません。私は神の中にそのような堅固な立場を持っています」。私

は神の中にいるという事実について、とても安心していることを、あなたがたに証しすることができます。

### 適用:ビジネスパーソン編

**証** 私たちは神の中に、キリストのからだの中に場所を持っています。その場所は、再生された霊の中と造り変えられた魂の中にあり、私たちの天然の存在の中にはありません。私は主が用意されたこの場所を尊び、その中を生きることを証します。

まず、この場所についてのビジョンを見て尊ぶことについて交わります。主は肉体となり、神・人として十字架ですべてを含む死を成し遂げられました。十字架上で主は、罪(単数)、罪(複数)、この世、悪魔、死、肉、自己、古い人の障害を、すべて廃棄されました。そして、彼は復活され私たちが神の中に入る新しい道を切り開いてくださいました。ヘブル10:19 こういうわけで、兄弟たちよ、私たちはイエスの血によって、大胆に至聖所へ入ります。20 それは、彼が私たちのために、彼の肉体である幕を通して、一つの新しい生きた道を開設してくださったからです。この場所で、私は神と交わり、神とミングリングされることができ、他の肢体と建造することができます。三一の神が様々なプロセスを経たのは、私のためにこのような場所を用意するためでした。私はこのことを主の御前で考慮すればするほど、このビジョンについて主と会話すればするほど、再生された霊に留まりたいと思うようになりました。私はこのビジョンを見て、この場所の価値を認識したので、この場所にとどまらなければ主の準備がすべて無駄になってしまうと感じました。私は御言葉を使って主と会話することを、大学2年生19歳の頃から経験し始め、全時間奉仕を始めた24歳から多く経験しました。この経験により、私はビジョンを更新することができました。

ビジョンを見るための祈りにより、次の段階、実際に霊を活用し、思いを霊に付けて、神の中に住み、キリストの肢体として機能する段階に入ることができました。コロナの時期の2年目の2021年から、毎週主日福音集會を兄弟たちと組み合わされて行うよう決定しました。毎週なので、油断しているとあっという間に週末になってしまい、ストレスを感じました。私は主の御名を呼び、主と交わり、ストレスを主の中で消化しました。その後、主は朝毎の復興などの追求に加えて、エド兄弟のように御言葉の適用を交われれば、後は集會の霊の流れに従えば良いことを示してくださいました。その後、私はそれぞれの地区の兄弟姉妹の状況に合わせた適用を考え、祈って準備するようになりました。再生された霊の中で祈り、からだの交わりの中に留まれば、建造のために正しく機能することができます。

**祈り** おお主イエスよ、主は私が神と交わり、神とミングリングされ、他の肢体と建造されることができるところを、ご自身の命を代価として用意してくださいました。このビジョンをはっきり見るために、主とよく会話をします。そして霊を活用して実際的に一肢体として建造のために機能します。

**CP2** 神が建造の働きを行なわれるのは、

私たちが主を愛し、彼が私たちと共に

住まわれることを経験する事にかかっている

**IG** 神の御子、主イエス・キリストは、その霊により、また彼の死と復活を通して、有機体、召會を建造しつつあり、それは彼のからだまた御父の家であって、三一の神と彼の選ばれ贖われた人とのミングリングによって生み出されます。**H** 御父の家は、御父と御子とその霊と共に、贖われた選びの民を絶えず訪れることによって建造されます。ヨハネ14:20 その日には、私が私の父の中におり、あなたがたが私の中におり、私があなたがたの中にいることを、あなたがたは知るであろう。23 イエスは彼に答えて言われた、「だれでも私を愛する者は、私の言を守る。そして私の父は彼を愛され、私たちは彼の所へ行って、彼と共に住まいを造る」。

私たちは彼の中に住むことができ、彼は私たちの中に住むことができます。そのような状況の中に、罪、この世、サタン、古い人、肉に対する余地はありません。そのようなものはすべて、追い出されています。あなたは過去、このような経験を持ったことがないでしょうか？ あなたの内側深くに主イエスに対する甘い評価があり、あなたは、「主よ、あなたを愛します」と言いました。そして主は言われました、「あなたが私を愛するなら、私の戒めは、あなたがこれ、あれをしないことだ」。あなたは「アーメン、主イエスよ」と言いました。おそらく、あなたは目に涙を浮かべてアーメンと言ったでしょう。直ちにあなたは、内側に彼の現れ of 感覚を持ちました。あなたは本当に彼の臨在の中にいました。その時あなたには、彼がご自身であなたを満たし、あなたは彼の中へ引き寄せられているという感覚がありました。あなたは彼の中に住んでおり、彼はあなたの中に住んでおられました。あなたは彼の住まいであり、彼はあなたの住まいでした。... 私たちはこの経験を一日中、持つ必要があります。... 今日、地上での人の中にある神の住まいの建造は、完全にこの経験にかかっています。おそらく二人の兄弟が、互いに問題を持っていることでしょう。何がそれを解決することができるのでしょうか？ 解決するのは容易ではありません。ある日、彼ら両方が主を愛し始め、主に対して深く甘い評価を持ちます。主は彼らに戒めを

与えられ、彼らはそれを取ります。直ちに、彼らは両方とも主の臨在の中におり、問題は去ります。これが、主が私たちの間で神聖な建造の働きを行なわれる道です。それは、組織、規定、外側の教えの事柄ではありません。それは絶対に私たちが主を愛し、彼の出現と彼が私たちと共に住まわれることを経験する事柄です。

**適用:青少年・学生、新人編**

**証1**ヨハネ14:23 イエスは彼に答えて言われた、「だれでも私を愛する者は、私の言を守る。そして私の父は彼を愛され、私たちは彼の所へ行って、彼と共に住まいを造る」。「主を愛する者は、彼の言葉を守る」という言葉を読んだ時、とても照らされました。日常生活の中で、私は「年をとるにつれて頑固になっている」、「日本語を聞いても大体しか理解できない」、「人の話を聞いている時、自分の固定観念にとらわれてしまう」と感じる事がよくあります。そして、人の話を聞いて、それを実行することにおいて、何か「障壁」や「障害」があるように感じていました。おお、主イエスよ！私は主の恵みと憐みを必要とします。さらに主に開き、もっと主を認識し、主を愛します。主の光の中で主の言葉を聞き、啓示を受け、その言葉に従って神のみこころを実行したいと願っています。

**証2**あるブレンディングの時、自分のポリシーを話し出した姉妹がいて、話を聞きながらあまり回復の姉妹っぽくないなと感じましたが、新人でも教会生活をしていない人でもなかったもので、どう反応すべきか迷っていました。その場に一緒にいた海花姉妹も、違和感があつたようでしたが、話の内容自体には反応せず、その人に、今教会生活の中で誰と取り組んでいますかと尋ねていました。その人の答えから、あまり身近な兄弟姉妹と取り組んでいないようだったので、海花姉妹は、同じ地区のあの人と取り組んだらいいですよ、と具体的にアドバイスをしていました。アドバイスを受けた人も、喜んで、これからそうしますと答えていました。海花姉妹の話を聞いていて、建造に役立つ言葉とはこのような、人を励まして具体的に導くことなのだろうと思いました。もし私が自分の感覚で話の内容について指摘していたら、その人は内省に陥って、いい結果にはならなかったと思います。

また、ある人が牧養に役立つことをしようとしたが反対に遭って弱くなっている、という話を聞いて、余力兄弟が、「反対にあってもいいじゃないか」と言われたので、私は「でも人は繰り返し反対されると萎縮してしまう」と言いました。それに対して余力兄弟は何もおっしゃいませんでした

が、主からは「サタンよ、退け」と言われた感覚がありました。誰の側に立って、何を弁護しているのか、人の弱さを思いやっているようであり、誰の励ましにもならない、建造に役立たない言葉を語らないように、という感覚でした。主の中に住み、主と良く交わっておられる兄弟姉妹から、主の願いに従って語ることを学びたいです。

**祈り**おお主イエスよ、私はあなたの中に住み、あなたは私の中に住まわれます。私とあなたは相互の住まいです。あなたの中に住めば、罪、この世、サタン、古い人、肉には余地は無く、すべて追い出されます。主が私たちの間で神聖な建造の働きを行なわれる道を持たれますように。

### 神戸に在る教会交わりと報告事項

1. **福音集会の順番:** 11/17:神戸、11/24:YP(本山)、12/1:三宮、12/8:本山南、12/15:六甲、12/22:YP(王子公園)、12/29:合同@魚崎

2. **11/20-25 ニュージーランドのBS神戸BLD:**

11/20(水)同行者:佳穂S、末廣S

14:55 関西国際空港到着

六甲に到着後、六甲の近く夜景

18:30 六甲で愛宴とブレンディング集会

11/21(木)同行者:新城BS

9:45-11:30 Daytimeトレーニング参加@魚崎

その後、京都へ

11/22(金)同行者:余力S、夏美S

8:30 六甲から本山経由で、奈良と大阪観光

夜 本山接待の10名は夙川の陳家でBLD

六甲接待の12名は本山の子供小組、本山

南の小组、六甲の子供小组に参加

三宮・王子公園接待の10名は三宮小地区

と神戸小地区でBLD

11/23(土)同行者:余力BS

9:55-11:15 関西・四国・東海BLD集会参加@魚崎

昼食は魚崎で愛さん

12:30 魚崎を出発して姫路に観光

18:00 ハーバーランドで食事

11/24(主日)同行者:各地区

午前 各地区の主日集会に参加

13:30 布引ハーブ園でブレンディング

17:00 三宮商店街で買い物と食事

(接待のある地区は引率のため、

少なくとも1名奉仕者を出してください)

11/25(月)同行者:余力S

本山5:00出発、六甲、王子公園、三宮の順に

バスが巡回して、関西国際空港に向かう

※一緒に1日同行出来る人を募集しています。